

# 桜木東だより

校訓  
夢をもち  
よく学び  
よく遊び  
よく鍛えよ

桜木東小 学校便り No.29

発行日 令和7年2月18日

校長 片山 明光

【学校教育目標】 夢をもち 人間性豊かで たくましく 創造的に生き抜く児童の育成

## 桜木東小学校生活向上委員会開催!

2月5日に児童代表・教職員代表・保護者代表の三者で学校の決まりを検討する「桜木東小学校生活向上委員会」を開催しました。議題は「校内で着用する名札について」「休み時間の運動場のサッカー使用について」の2つです。名札については、教職員・保護者ともに現在のものに限らず、量販店や100円ショップなどで購入できるものでもいいのではないかという意見が多かったようですが、参加した児童の大多数が「今のままの校章が入った名札がいい」「校外学習などの時にみんなが違う名札だと嫌だ」などの反対意見を出しました。参加した職員も「子どもたちが校章に愛着をもっていることが分かった」「子どもたちの母校に対する愛校心はすごい」などの感想を述べていました。サッカーについては、児童たちの多くがサッカーをやりたいという意見を持っていましたが、保護者からは「ケガを心配される保護者の方もいらっしゃるのではないか」などの意見も出されました。2つの議題ともに規約にある「三者ともに過半数を獲得する」に満たなかったために今回はこの2つの議題について決まりの改正を校長に提案するとはなりませんでした。

前にも書きましたが、この取り組みの目的は「自分たちの決まりは自分たちで作り、自分たちで守るという民主主義の基本を身につける」ことです。今年初めての取り組みで戸惑いもあったかと思いますが、また来年度以降、児童・保護者・教職員にアンケートを実施し、10月に「桜木東小学校生活向上委員会」を開く予定にしています。その際にはアンケートのご協力などよろしくお願いいたします。今後もこの取り組みのような「児童の意見を取り入れた学校運営」を増やしていきながら、子どもたちの「主体的に考え行動する力」を育てていきたいと考えています。

## 「横井小楠先生墓前祭」に6年生が参加!

2月14日に小楠公園にて、「横井小楠先生墓前祭」が行われ、6年生が参加をしてきました。横井小楠については、横井小楠顕彰会長の光岡様に総合的な学習の時間に来ていただき、お話を聞き、その功績や考えなどを学習していました。当日は、秋津小・桜木小の6年生、大西市長、益城町町長をはじめ議員の方々や地域の代表の方々など多くの方が参加されていました。6年生の児童は事前にいたっていた「送別の語」（横井小楠が渡米する甥に送った言葉）を全員で暗唱しました。その中身の後半は「自分の心と合わない、逆らう人がいても、人を悪く言ったり、思ったりしてはいけない」「自分がこれをしたと思って、そればかりが正しいと思ってはいけない」「自分を鍛え、目標をもって学び続けることが徳の高い人間になっていく道なんだ」という内容です。約160年経った現在でも通じる言葉だと感じました。私も校区校長を代表して、玉串奉奠（たまぐしほうてん）を行いました。私は2年前教育委員会にいた時に、姉妹都市である福井市の小学生と一緒に四時軒・横井小楠記念館を訪れ、ある程度は知っていたつもりでしたが、今回参加させていただいて、横井小楠が地域の人にこんなに愛されていて、地域の人々の誇りになっているんだと改めて感じました。



少し暖かい天候の中、行われました



6年生は列の後ろのほうに並び参加



顕彰会名誉会長の大西市長のあいさつもありました